



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

千歳セントラルロータークラブ

ROTARY INTERNATIONAL District 2510

RIテーマ「ローター：変化をもたらす」

発行 千歳セントラルロータークラブ 会長 四方信次 / 副会長 井上英幸 / 幹事 笹谷俊尚 / 会報委員会 委員長 福島 力
〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4-4 ホテルグランテラス千歳 TEL.0123-26-5788 FAX.0123-25-9112
Mail.membeRship-offiCe@CCRC.jp URL.http://www.CCRC.jp

会長あいさつ 会長 四方 信次

こんばんは。9 月 19 日の昼はゴルフコンペ、夜は石川委員長の計らいの親睦夜間例会以来、2 週間振りの例会であります。皆様お久しぶりです。その間、22



日に千歳中央ライオンズクラブさんの認証 35 周年記念式典、懇親会に笹谷幹事と参加させて頂きました。また、26 日は千歳ローターアクトクラブの定例会に青少年奉仕委員会の代わりに出席しました。アクトは昨年、会員増強を何人かされたこともあり、アクトのことローターのこと分からないメンバーがいるということで、アクトとは何かという演題で OG のワンさんがとても熱く卓話をされました。とても良かったです。更に 9 月 30 日～10 月 1 日にローターアクト 2510 地区協議会が開催され、ローターアクト委員長の臼田会員と参加して来ました。

本日は来年 3 月 19～20 日に実施致します。防災講話事業の概要を高木実行委員長から説明があります。小中高等学校合わせて約 1,400 名に聞いて貰う講話になります。高木実行委員長の話を聞いて頂いて、皆さんにはご理解とご協力を頂けることを、切にお願い申し上げます。季節は寒くなりましたが、この事業に対して心は熱くなっております。宜しくお願いします。

幹事報告 幹事 笹谷 俊尚

- 千歳中央ライオンズクラブより創立 35 周年記念式典出席に対しお礼状が届いています。
- RI 第 2510 地区ローターアクト「第 45 回地区協議会」出席のお礼状
- 次年度（2018-2019 年度）役員選出について次年度理事の立候補・推薦を受け付けます。

【選出理事職】

会長ノミネー（次年度会長エレクト） 1 名
副会長 1 名
会計 1 名
副幹事 1 名

例会出席状況（2017 年 10 月 3 日）

会員数	42 名
会員出席者数	27 名
欠席者数（内：無断欠席）	14 (1) 名
出席率	66.67 %
ゲスト・ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	27 名

前回例会 確定出席率（2017 年 9 月 19 日）

確定出席率（MU 含む）	73.81 %
--------------	---------

10 月 30 日（月）までに幹事宛封書にてご提出をお願いします。

● 事務局臨時休業について

10 月 4 日（水）、5 日（木）臨時休業

各委員会連絡・報告

青少年奉仕・ローターアクト委員会 委員長 臼田 暢
第 2500 地区・第 2510 地区 第 16 回北海道ローターアクト交流会の本登録のご案内です。多くの皆様のご登録をお願いします。

- 日程 11 月 18 日（土）～11 月 19 日（日）
- 会場【開会式】ANA クラウンプラザホテル千歳

【懇親会・二次会・宿泊先】オレンジホール

【メインプログラム 2・閉会式】千歳市立緑小学校

- 参加費 登録料 2,000 円、懇親会 5,500 円
- 締切り 10 月 15 日（日）



雑誌委員会 委員長 白木 松敏

新聞等に掲載された会員の記事をご紹介します。



ニコニコ BOX

進行：ニコニコ箱委員会 委員長 岩下 誠

ニコニコ BOX を頂戴しました。有難うございました。
望月秀則会員、清水清光会員、佐々木俊英会員、
山口康弘会員、石川貴美子会員、四方信次会員、
今井章夫会員



本日のニコニコ BOX 合計額	21,000 円
今年度 累計額	267,000 円

本日の例会プログラム

通常夜間例会

**「クラブ協議会/防災講和事業の概要」
担当/理事会 (進行:会計 高木 昌人)**

この度四方会長からのご指名により「防災講話事業」の
実行委員長を拝命しました高木です。宜しくお願いしま
す。

ところで皆様はこの「防災講話事業」についてどこまでご



存知でしょうか？まだまだ皆様への周知が不足している
気がしております。僕自身は、今年度クラブの理事就任
のお声かけを頂き、昨年からの予定者理事会の段階で
会長から大体の内容を伺っていました。また今年度の活
動方針の中にも、会長からこの事業についての思いが綴
られております。要は「やまと語りべの会」の方に、震災
で経験した思いや知識を、千歳市民…特に若い世代の
方々に聞いて頂き、防災への…特に様々な事態を想定
する意識や、公助、共助、そして自助の知識の向上を
醸成してもらう」とう事業です。

本事業は四方年度がメインと位置づけするクラブ事業で
す。予算としてもそれなりに計上させて頂いております。ク
ラブ事業として有意義なモノにするべく、まずは会員の皆
様にご理解とご賛同を頂くため、本日のこの例会…そし
てこのプレゼンテーションとなった次第であります。

高木が今回の担いを受けてから…まずはあの東日本大
震災のことについて、今一度自分なりに知識を整理しよ
うと思いました。そこから始めたいと思います。

これは忘れることはないと思いますが…時は 2011 年 3
月 11 日…午後 2 時 46 分…ちょうど昼休憩が終わり、
さてそろそろ午後からの仕事を再開しようか…という時に、
今までに感じたことのない、気持ちの悪い大きななりと
いうか…長い揺れを感じました。それまでの地震では、よ
く「震源地」という呼び方だったのがこの地震では「震源
域」という表示でした。それだけでも規模が違う感じでした。
千歳は震度 4 でした。マグニチュード 9 というのも初
めて聞きました。津波の最大高度が 40, 1m。死者・
行方不明者は…2017 年 3 月 10 日…震災後 6 年
が経過した時点で、死者 15,893 名、行方不明者は
2,553 名…合わせて 18,446 名となっております。建物の
被害は、全壊・半壊合わせて 40 万戸。震災当初の
停電は約 800 万戸、断水は約 180 万戸…観測史上
最大の被害となっております。

ここで、少し事業の話からそれますが…当時の…千歳で
の僕の身近な部分で何が行われていたのかもご紹介し
たいと思います。当時まだ僕も所属していました千歳青
年会議所での活動です。震災から 3 日後になりますが、
被災地へ送る救援物資…特に生活必需品の募集、と
りまとめを開始しました。まずは自衛隊から「被災地へ救
援に行くためにできるだけ多くのタオルを集めている…本
日夜 7 時まで」という情報を頂き、家庭で余っているタ
オルの収集から始まりました。

日本青年会議所では、すでに 1995 年の阪神淡路大
震災で得た教訓や知恵が脈々と残されており、混乱を
防ぐため極めてシンプルに…ということで、とりあえず「粉ミ
ルク・紙おむつ・おしりふき・ウェットティッシュ・トイレトペ
ーパー」のみに限定した呼びかけを行いました。

各家庭から集められた細かな善意…ですがイロイロな種

類のモノが入られた箱や袋をそのまま現地に送っても、かえって現地での手間を煩わせ…結果的に残念なゴミの山になりかねない。一目で中に何が入っているのかが分かる大量の救援物資。しかも現地の要望に的確に対応した必要でちょうど良い量…必要なのは「細かな善意よりも大きな効果です」と。当時支援物資の仕分けに苦労した神戸青年会議所からの情報です。ので、商工センターに集められた様々な物資の仕分け作業を行いました。それらを種類別に箱に詰めて分かりやすく明示する。それを苫小牧港から出る船に積む予定でしたが、間に合わず、結局は函館まで運ぶことになりました。

もう一つ同時進行で行われたのが、募金活動です。これもより効果的に行われるため、各県人会の皆さんと連携して、市内各所で行いました。中には一万円札を入れて行かれる方もいました。

さらには現地へのボランティア活動です。ただし、これも神戸での経験が伝わりました。二次災害の可能性がまだある段階では、自衛隊やレスキュー隊といったプロフェッショナルに任せるべき時期であり、最低限の幹線道路やライフラインが復旧し、そのうち必ずボランティアの力が効果的に求められる時期が来るまで体制を整える…といった感じでした。

バランス良く効率よく不公平感になるべく少なく…というコトを念頭に日本青年会議所本会から得た情報を各地区で協議しあい、北海道地区としては、岩手県の陸前高田市をカウンターパートナーとして支援することになりました。

しかも、当時の情報で出てきたのが、なまじ中途半端な装備でボランティアでいった輩が多く、やれ「それはできない」「こんなことがしたい」とか「寝るところや風呂はないのか」といったトラブルが頻発しかえって現場でのお荷物になりかねない…といった状況もあったそうです。そういう事態から「ボランティアに来るなら、現地でのいかなる要望にも対応できる装備や心づもりで行くように」「なお宿泊場所や風呂・洗濯・食事といった環境はもちろんありません。全て自己責任で。」というお達しがありました。

そこで…繋ぎの作業服やゴム長靴、軍手や工具類、滞在日数分の下着、小さな寝袋やトイレトペーパー等を準備したら荷物はこんな感じになりました。

当時の北海道地区会長の高橋君が、とりあえず現地を視察し、その上で、そこから内陸にひと山越えた被害のなかった岩手県奥州市の水沢というところで賃貸のアパートを契約してきて「ここを北海道 JC メンバーの基地にしよう」と呼びかけました。そこは当時使っていた花巻空港から近く、「そこから各自でレンタカーを借りていくように」という事でした。しかもアパートの近所には『ボランティアで来た』といえば大浴場を無料で入らせて頂けるホテルもありました。そしてなるべく継続的に支援が出来るように、北

海道地区で支援希望者を募り情報を共有してバランス良く振り分けられていきました。

高木は…7 月 4 日から 7 日まで行ってきました。目指した場所は陸前高田災害ボランティアセンター。ここでまず活動保険に加入し「ニーズ受付票」を見ながらお手伝いできる作業を探すというモノでした。初日は少し遅めの時間帯に行ったので、「お祭りの設営に使うちり紙で花を一人 1000 個作る」というモノでした。完全装備で伺った割には意外な作業でしたが、何でも対応するつもりで来ましたから楽しく参加させて頂きました。その他には、トラックで運ばれてくる大量の支援物資の段ボール箱を中学校の体育館への搬入し、中で仕分け。次には地元のホームセンター…こちらのホームマックみたいな大きな店の倉庫で、大量のガレキの中から壊れて売り物にならないモノとまだ使えるモノとの仕分け作業でした。ここはアリスという会社で、ちょうど 5 年後に当たる今年の 7 月に久しぶりに行ってきました。セメント工場も併設されていて、立派になっていました。

発生当初の避難者は 40 万人だったのが…現在は 8 万 7 千人。3 万 3748 世帯が現在も仮設住宅での生活を強いられています。

我が千歳セントラルロータリークラブでも昨年は被災地に行きましたね。宮城県岩沼市での「千年希望の丘の植樹事業」、そして山元町立中浜小学校の訪問でした。ここでのお話は一緒に行かれたメンバーの方々のご存知かと思いますが、本日お配りした資料に書かれています。そこでイロイロとご説明されていたのが「やまもと語りべの会」の会長であります渡邊修次さんはじめメンバーの方々です。バスの中でも大変貴重なお話を伺いましたのを印象深く脳裏に残っています。

前置きが長くなりましたが、防災講話事業はこの渡邊会長を千歳にお呼びして、千歳子ども達にお話をして頂くという内容です。そして震災の恐ろしさや日頃からの自助の意識、日々の日常の有難さを実感し、長く後世に繋げてもらうことを目的としています。

現在予定しているのは、来年 2018 年 3 月 19 日の午後に千歳高校、夕方にはクラブ例会での卓話。そして 3 月 20 日の午前に北陽小学校、午後には勇舞中学校です。

詳しくは今後さらに打ち合わせして決めていきます。先月の 18 日にはちょうど札幌に用事があって来道していた渡邊会長と千歳空港でお会いしたり、来週には四方会長と松坂さんと一緒に岩沼に行って岩沼ロータリークラブの皆様を交えての打ち合わせをします。メンバーの皆様におかれましては、クラブの事業として趣旨をご理解して頂き、設営や運営の中で何かとお手伝いをお願いすることになります。また日が近くなりましたら改めてご案内しご説明する機会があるかと思しますので、どうかご協力宜し

くお願いします。ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内

SAA 大下 和志

次回例会は 10 月 10 日 (火)、通常例会「米山奨学生の報告」です。RI 第 2510 地区米山記念奨学・学友委員会 委員 三浦信一様、米山奨学生 ヒルダ・アマリア様をお招きします。担当は米山記念奨学委員会。開会点鐘 12 時 30 分。定例会場です。

NEWS & TOPICS

植樹したエゾマツ 14.8 メートルに 千歳ロータリークラブが測定

千歳ロータリークラブ
(RC、滝沢順久会長)

は 5 日、早朝活動として「千歳ロータリーの森林 (もり)」で 25 年前に植えた当時 30 センチの苗木だったアカエゾマツの樹高を測定した。高所作業車やドローンを使い、14.8 メートルまで成長したことを確認した。



千歳市街地から道道

支笏湖公園線を 9 キロほど支笏湖方面に行き、王子製紙管理道路を入ったところにある 2.8 ヘクタールの国有林地に 1992 年 5 月、同 RC 会員らが苗木 7300 本を植樹したのが、分収造林「千歳ロータリーの森林」。以来、同 RC の事業として会員が毎年 2 回の手入れを重ねてきた。

今回は、同 RC が来年 4 月に創立 50 周年を迎えるのを前にした樹高測定。会員 40 人が見守る中で滝沢会長を乗せた高所作業車のゴンドラが上昇。樹高 14.8 メートルと測定した。ドローンも飛来して、分収造林全体の様子や集まった会員の動き、ゴンドラ上で滝沢会長が樹高計測をする姿などを撮影した。

計測作業に先立ち、滝沢会長が「地球環境に貢献し未来へつなげる事業」と、これまでの努力をたたえ、丹治秀一分収造林組合長、平間和弘環境保全委員長が事業の経緯などを説明した。

SCHEDULE

経済と地域社会の発展、米山月間 ■地区大会(地区) ■世界ポリオデー ■清掃奉仕活動 ■次年度理事立候補手続き	
10月	10日 通常例会「卓話 米山奨学生の報告 出席/RI 第 2510 地区米山記念奨学・学友委員会 委員 三浦信一様、米山奨学生 ヒルダ・アマリア様」 [担当/米山記念奨学委員会(委員長 田口廣)]
	14-15日 RI 第 2510 地区 地区大会(函館) ゴルフツアー
	17日 休会 (定款第 8 条第 1 節)
	24日 移動例会「清掃奉仕活動」 [担当/社会奉仕委員会(委員長 武田伸也)] 世界ポリオデー
	31日 休会 (定款第 8 条第 1 節:同一週に祝日)
ロータリー財団月間 ■創立記念日(1990.11.19) ■世界インターアクト週間 ■次年度理事指名委員会設置	
11月	7日 通常夜間例会「卓話 クラブとロータリー財団との関係 講師/RI 第 2510 地区財団奨学金委員会 委員長 出村知佳子様」 [担当/ロータリー財団委員会]
	14日 通常例会「未定」 [担当/会報、広報委員会(委員長 福島力)]
	19日 クラブ創立記念日 (27周年)
	21日 移動親睦夜間例会「千歳 RC 合同例会 in THE BELLCLASSIC Lien」 [担当/親睦活動委員会(委員長 石川貴美子)]
	28日 通常例会「未定」 [担当/出席、ニコニコ箱委員会(委員長 岩下誠)]
疾病予防と治療月間 ■クリスマス家族会 ■次年度理事指名・任命 ■上半期報告	
12月	5日 通常夜間例会「年次総会」※36 分例会 [担当/理事会(進行担当:幹事 笹谷俊尚)] ※次年度理事の指名・任命
	12日 通常例会「未定」 [担当/クラブ研修・新会員研修・細則検討委員会(委員長 佐々木俊英)]
	19日 親睦夜間例会「クリスマス家族会」 [担当/親睦活動委員会(委員長 石川貴美子)] ※会員家族出席例会 ※千歳 RAC 合同例会
	26日 休会 (定款第 8 条第 1 節)
職業奉仕月間 ■新年交礼会 ■千歳市新年交礼会 ■千歳 RC 新年交礼会 ■千歳 LC 新年交礼会 ■千歳 JC 新年交礼会	
1月	2日 休会 (定款第 8 条第 1 節:同一週に祝日)
	9日 親睦夜間例会「新年交礼会」 [担当/親睦活動委員会(委員長 石川貴美子)] ※会員家族出席例会 ※千歳 RAC 合同例会
	16日 通常例会「未定」 [担当/職業奉仕委員会(委員長 大久保尚)]
	23日 通常夜間例会「未定」 [担当/国際奉仕・空港募金箱委員会(委員長 尾本眞二)]
	30日 休会 (定款第 8 条第 1 節)